

国際大会団長報告

大会名	アジアパワーリフティング&ベンチプレス選手権大会		
開催国名	トルコ		
開催都市名	イスタンブール		
大会期間	2021年12月25日～2021年12月30日		
団長名(報告者)	佐々木陽一		
帯同審判名	なし		
大会参加国(地域)数	クラシックパワーリフティング：14カ国	クラシックベンチプレス：12カ国	
大会参加選手数	クラシックパワーリフティング：146名	クラシックベンチプレス：102名	

※必要に応じて行を挿入してください

順位	参加選手名	階級	種別	性別	カテゴリ	SQ記録	SQ順位	BP記録	BP順位	DL記録	DL順位	To記録	To順位
1	CLパワーリフティング部門												
2	鈴木 心輝	83.0	CL	男子	Sjr	165.0	2	105.0	2	202.5	1	472.5	2
3	吉岡 京介	59.0	CL	男子	Jr	175.0	2	127.5	1	217.5	1	520.0	1
4	千島 洋文	66.0	CL	男子	Jr	175.0	1	107.5	2	202.5	1	285.0	1
5	鈴木 研太郎	59.0	CL	男子	M1	125.0	1	82.5	1	170.0	1	377.5	1
6	山田 洋平	93.0	CL	男子	M1	170.0	4	135.0	4	190.0	4	495.0	4
7	佐々木 陽一	105.0	CL	男子	M1	212.5	5	122.5	5	220.0	4	555.0	5
8	堀 薫	59.0	CL	男子	OP	125.0	3	100.0	2	160.0	3	385.0	3
9													
10	CLベンチ部門												
11	山田 洋平	93.0	CL	男子	M1			130.0	2			130.0	2
12	北村 弘行	59.0	CL	男子	M3			95.0	1			95.0	1

※必要に応じて行を挿入してください。挿入する場合はNo24以前に挿入すると数式の再設定不要です。

メダル獲得数集計シート
(自動計算されます)
(数字は半角英数字を使用し、数式破損に注意)

SQ金メダル	2	BP金メダル	3	DL金メダル	4	To金メダル	4
SQ銀メダル	2	BP銀メダル	4	DL銀メダル	0	To銀メダル	2
SQ銅メダル	1	BP銅メダル	0	DL銅メダル	1	To銅メダル	1
SQメダル計	5	BPメダル計	7	DLメダル計	5	Toメダル計	7
大会獲得メダル合計							
24							

【大会の様子】※写真等を貼り付け、大会の様子等を報告してください。(会場、使用器具、天候、運営など今後の派遣に有益な情報となりうるもの)



会場：2面開催

本番器具：最新のエレイコ

天候：朝晩は3°Cなど冷え込むが日中は比較的過ごしやすい。日の出が遅く朝8時を過ぎてからやっと明るくなる。日没は18時頃で日本よりも遅い。

食事：ホテル以外の食事については日本人にはあまり合わないため今後トルコでの開催される場合は日本食の持参を推奨。

～運営等について～

※試合前に使用できる練習場がなく、大会終了後も館内掃除などで本番器具での練習ができなかった。そのため、ホテルのジムを使用。

※オフィシャル掲示板がホテルにも会場にもなく、主催者に直接確認が必要だった。

※コスチュームチェック、検量の両方でパスポートの提示が求められた。(今回、選手IDの配布は無し)

※検量はロット番号順と並んだ順と定まっていなかった。

※コスチュームチェックでラックの高さの申告、検量で第一試技の重量申請。(口頭申請だが、日本チームは別途紙に記載して持参をした。)

※アップで使用する器材はローカルメーカーの器材が2つ、本番用にエレイコが1つの合計3つ。プレートはエレイコ以外も混ざっていた。

※セコンドは1国につき2名まで、1選手につき2名まで、コーチ証がなければ入れられない、などその日によって係員の言うことが異なるが、最終的には全員会場に入りセコンドに着けた。途中、人数が多かったインドは会場から出されている場面もあり。

※ビデオについては、正面から撮ることができない(立ち入り禁止エリアになっていた)ため、斜め後ろからの撮影。

※世界大会とは異なり、コロナ陰性証明書の提示なく会場に入れた。また、APF側でコロナ検査の用意も無かった。

※帰国に必要な日本政府のPCR検査陰性証明書はフライト72時間前条件があるため大会日程との都合上、イスタンブール市内の病院とイスタンブール空港とでメンバーにより受ける場所が異なった。(病院6名、空港2名)

※大会会場内でSBDベルトの盗難有り。